

上京区住民円卓会議資料

～区民が主役の次期区基本計画の策定に向けて～



基本計画って、初めて聞いたけど、何のことかなあ？

上京区では、「10年後こんな上京区にしたい！」という区民の皆さんの意見を集め、将来像やまちづくりの方向性をまとめた基本計画を作っています。皆さんもぜひアイデアを出して、次の世代により良い上京区を引き継いでいきたいですね！



上京区では、区基本計画(平成13～22年)の期間終了に伴い、新しい計画(平成23年～32年)を作り始めました。今までに検討された内容や今後の予定をお知らせいたします。ぜひ皆さまからも、計画に対する自由な意見やアイデアを気軽にお寄せ下さい。



区基本計画は、区基本計画策定委員会・部会、住民円卓会議を中心に検討されています。

区基本計画策定委員会

住民円卓会議、各部会から提案された施策・事業を検討し、基本計画をまとめていきます。主に、「自治と地域力」、「まちの安心安全」、「福祉と健康」、「暮らしと賑わい」、「環境」の5テーマを検討しています。



住民円卓会議

報告

提案

部会

各学区で、上京区の現状の課題や基本計画に盛り込みたい施策・事業について意見を出し合う場です。

提案

「自治と安全」、「福祉と健康」、「魅力発信」の部会に分かれ、住民円卓会議で出された意見も交えて、施策・事業の具体的な検討をします。

基本計画 5 テーマの施策・事業

○昨年度に開催した住民円卓会議や、今年度で開催した策定委員会、部会での検討を踏まえ、次期区基本計画の柱となる5つのテーマごとに施策、事業をまとめました。

○この施策・事業は、区民の皆さん自身で、また、区民の皆さんと区役所などの行政機関が協働で取り組むことを想定しているものです。具体的事例で、**市**、**区**、**民**で事業主体を示しています。

(市)：市各局所管事業、(区)：区役所・区内行政機関所管事業、(民)：区内各種団体・NPO・企業・大学主催事業)

○今後は、この施策や事業をもとに、具体的な取組やまちの将来像について検討していきます。



1. 自治と地域力

現状

【人口世帯数の推移】

- ◎平成 17 年の国勢調査によると、上京区の人口は 83,534 人、世帯数は 41,876 世帯。
- ◎人口は 50 年間でほぼ半減するも平成 7 年以降横ばい。世帯数は約 17% 増。
- ◎平成 7 年以降、西部地域で人口・世帯数の減少、堀川今出川を中心に人口・世帯数の増。

【年齢階層別人口の推移】(平成 17 年)

- ◎20 歳～24 歳が最も多く 9,743 人 (約 12%)。45 歳～49 歳は 4,108 人 (約 5%)。
- ◎10 年間で 65 歳以上の人口が区全体の人口に占める割合は 3% 増加 (平成 7 年 17,129 人 (20.4%) ⇒平成 17 年 19,733 人 (23.6%))。

【世帯型別世帯数】(平成 17 年)

- ◎単身世帯は約 50%，夫婦と子供世帯 19%，夫婦のみ世帯 15%。

【住宅の建て方別世帯数】(平成 17 年)

- ◎共同住宅居住世帯数が半数を超えている。

【市政協力委員担当世帯数の推移】(平成 10 年～17 年)

- ◎市政協力委員担当世帯数の割合は、84.2%から 79.2%に 5% 減少。

課題

- 少子高齢化、地域活動の担い手の減少、単身世帯とマンション居住世帯の増加による地域力低下の克服
- 地域内、地域同士で顔が見える関係の維持・向上
- あらゆる世代の方々が交流するコミュニティづくりの促進
- 身近に交流できる場の創出
- 地域から孤立しない、暮らしやすい上京区の実現に向けた取組の促進

課題を解決していくための施策・事業

【施策 1 地域力の維持・向上】

元学区単位の住民自治を支えてきた地域力は、全ての活動の基礎です。高いレベルを誇る地域力の維持・向上に向け、これからも地域内で顔が見える関係を維持する取組を進めるとともに、新しい小学校区内での交流も進めます。また、地域活動における世代間の空洞化（30 歳代・40 歳代が少ない）や真空化（参加しない）に歯止めをかけるためにも多様な年齢層の人々、特に大学のまちとして学生に積極的に地域活動に参加してもらえる取組を進めるとともに、区役所を交流の場として活用できるよう整備を進めます。

■事業・具体的事業例

事業：地域内での交流機会の拡大

具体事業例 ・子ども見守り活動などを活用した地域での挨拶・声かけ運動の実施

区・民

- ・区ふれあい事業，PTA活動，各学区各種団体事業，自治会・町内会事業等の周知と参加促進 区・民

事業：地域同士の交流の促進

- 具体事業例 ・元学区単位の自治活動だけでなく統合小学校区単位での交流の促進 民

事業：多様な年齢層，団体の地域活動への参加促進

- 具体事業例 ・大学，PTA，NPO団体などとの連携・協働 区・民
- ・「学まちコラボ事業（大学地域連携モデル創造支援事業）」の活用 市・区・民
- ・若者や学生への地域活動の企画段階からの参加の呼びかけ 区・民

事業：区民が交流できる場にふさわしい新上京区総合庁舎の運営

- 具体事業例 ・住民参加による区民交流スペースの運営方法の検討 区・民

【施策2 多世代交流のコミュニティづくり】

生活様式の変化や核家族化，高齢化が進み，住民自治の基礎単位である自治会・町内会への加入率が低下しているといわれています。また，上京区でもマンションに代表される共同住宅居住世帯や単身世帯が半数を超え，今後の自治活動にはこれらの方々の参加がこれまで以上に大切です。防災・防犯，地域福祉の取組を活発にし，地域から孤立しない，暮らしやすい上京区の実現を目指します。そのために，子育て世代や障がいのある方，高齢者をはじめとあらゆる世代の方々が交流するコミュニティづくりを進めます。

■事業・具体的事業例

事業：マンション住民等の自治活動への参加促進

- 具体事業例 ・地域とマンションオーナー等との情報共有の仕組みづくり 市・区・民

事業：地域活動への参加を促す取組への支援

- 具体事業例 ・自主防災活動をきっかけとした地域活動への参加の呼びかけ 区・民
- ・子ども見守り活動などを活用した地域での挨拶・声かけ運動の実施（再掲）
区・民
- ・区ふれあい事業，PTA活動，各学区各種団体事業，自治会・町内会事業等の周知と参加促進（再掲） 区・民
- ・町内会や自治会などの地縁団体と職業やテーマ・関心で集まった団体等との交流促進 区・民

事業：身近で気軽に参加できる場づくり

- 具体事業例 ・空き部屋（家屋）を利用した交流の場（まちの縁側）づくり 民
- ・子どもとお年寄りがともに楽しめる公園づくり（リハビリ遊具）市・民
- ・集合住宅への交流スペースの設置促進 市・民
- ・老人会，女性会，学区社会福祉協議会等による各種交流事業の開催 民
- ・世代を超えた交流が期待できる行事（地蔵盆，遊びの見本市等）の開催 民



2. まちの安心安全

現状

【自転車事故・高齢者事故の割合】（平成20年）

◎交通事故は減少傾向にあるが、自転車事故・高齢者事故の割合が増加

【犯罪発生件数と自転車盗】（平成20年）

◎犯罪発生件数は減少傾向にあるが、身近な自転車盗の割合が増加。原因は、施錠無し、路上駐輪。

【火災発生件数の推移（過去10年間の火災件数（上京区））

◎平成20年中の火災は7件で前年に比べ3件減少。上京区内は5年連続火災減少。

【救急出動事故種別割合（京都市）】（平成19年）

◎急病及び交通事故で全体の約8割。

【災害時要支援者数】（平成20年8月末）

◎災害時に自力で避難できない人が、約2,800人（人口の3.4%）。

課題

○誰もが安心して歩けるまちづくりの促進

○幼児から高齢者まで、全ての人を対象とした交通安全の取組の推進

○少ない火災・交通事故発生件数、良い治安を維持するために、地域で継続した活動ができる体制の維持

○災害時に誰もが安全に避難できるための準備と地域の事業所、公共機関との連携体制の構築

課題を解決していくための施策・事業

【施策1 交通安全対策の推進】

近年、交通事故の発生件数は減少傾向にありますが、自転車に関係する事故と高齢者が関係する事故の割合は増えています。その原因は、坂が少ない上京区では自転車は便利な乗り物であり、多くの方が利用されていますが、自転車マナーの低下や、道が狭い上に電柱などがあり、歩行者の安全な通行を妨げていることが挙げられます。そこで、誰もが安心して歩けるまちづくりと幼児から高齢者まで、全ての人を対象とした交通安全の取組を進めます。

■事業・具体的事業例

事業：安心して歩ける環境整備の促進

具体事業例 ・不法駐輪、置き看板等の一掃に向けた取組 市・区・民

事業：自転車と歩行者が共存できるまちづくり

具体事業例 ・歩道自転車通行不可の掲示、歩行者優先の注意表示 区・民

事業：交通安全教育と高齢者のための啓発活動の推進

具体事業例 ・高齢者はもとより、幅広い年齢に対応した段階的かつ体系的な交通安全教育の推進 区・民

・小学校ごとに防犯・交通安全（危険箇所）マップを作成。子どもへの周知と対策

【施策2 地域で取り組む防災・防犯】

上京区は、狭い道路を挟んで古い木造家屋が建ち並んでいる地域が多くありますが、火災は非常に少ない行政区です。これは、先人達が築いた高いレベルの防災活動の賜物です。また、凶悪犯罪が少ないのも、高い地域力と一体となった日常生活の中での防犯活動によるものです。これからも、安心して安全に暮らせるまちづくりが継続できるように行政、区民、大学、事業者が一体となった取組を進めます。

■事業・具体的事業例

事業：地域における防災・防火活動の維持・促進

- 具体事業例 ・学区自主防災会、「ブロック（複数の町内会）」ごとや「自主防災部（町内会）」での自主防災活動推進と防災教室などの開催 区・民
- ・団員募集など消防団活動への支援 区・民
- ・「京都学生消防サポーター制度」の活用 区・民

事業：救急知識の普及啓発

- 具体事業例 ・普通救命講習の受講促進 区・民

事業：防犯意識の向上と防犯活動の促進

- 具体事業例 ・自治会館、小学校を利用した定期的な防犯研修会の開催 区・民
- ・小学校ごとに防犯・交通安全（危険箇所）マップを作成。子どもへの周知と対策の協議（再掲） 区・民
- ・地域の見守りをアピールする挨拶運動の実施。 区・民

【施策3 災害時に備えた安心・安全の確保】

災害は、人智では防ぐことはできませんが、被害を少なくすることは可能です。誰もが安全に避難できるよう平時からの取組を進めるほか、被災後の避難生活や復旧活動を円滑に進めるための準備も行います。住民団体（自主防災組織など）だけでなく、災害に備えて地域の事業所、公共機関とも連携した防災活動を進めます。

■事業・具体的事業例

事業：災害時の安全な避難のための準備

- 具体事業例 ・防災マップの作成 区・民
- ・災害時要援護者の地域での把握と要配慮者への対応の検討 民

事業：災害時の協力体制の推進

- 具体事業例 ・避難所運営マニュアルなどの作成 区・民
- ・災害ボランティアセンター運用訓練の実施 民

事業：地域の事業所や公共施設等との災害時に備えた連携体制の構築

- 具体事業例 ・区防災会議と総合防災訓練の充実 区・民



3. 福祉と健康

現状

【65歳以上の高齢単身世帯数】（平成17年）

◎全世帯の約10%（4,366世帯）が高齢単身世帯，女性は男性の3.5倍（3,347世帯）。

【合計特殊出生率と子育てサロン開催状況】

◎人口の維持に必要な数値は2.08。上京区は市内で最も低い0.84。

◎地域ぐるみの子育て支援策としてチルドピア150回（区社協），子育てサロン170回（10学区）開催（平成19年）

【がんによる死亡者の割合と検診受診率】（平成20年）

◎がんによる死亡者の割合は年々増加し30%を超えたが，がん検診受診者数は年々低下。

課題

- 児童・高齢者・障がいのある方々を共に支え合い支援していく住民主体の活動の充実
- 地域が育む子供の育成と単身高齢世帯の増加に対応した支援体制の構築
- 福祉関係機関などの連携による，利用しやすい情報提供や，相談しやすくする取組の充実
- 地域に根ざした心身の健康づくりに向けた取組の推進

課題を解決していくための施策・事業

【施策1 福祉の人づくり】

「福祉は人なり」という言葉がありますが，福祉社会の実現は関係者だけの力では成しえません。児童・高齢者・障がいのある方を支え，より豊かな地域づくりを進めていくには，私たち住民一人ひとりの活動が最も大切です。福祉講座に参加したり，福祉施設を訪問したりする実践活動を通じて，他人を思いやる優しさ，共感できる暖かい心を持ち，共に支えあって生きていくことのできる人づくりに取り組みます。

■事業・具体的事業例

事業：福祉の担い手・創り手の育成

- 具体事業例
- ・一人暮らしお年寄り見守りサポーターの養成 市・民
 - ・認知症あんしんサポーター養成講座の開催 民
 - ・福祉講座の開催 民
 - ・活動者のスキルアップとリーダーの養成 民

事業：ボランティア活動の促進

- 具体事業例
- ・ボランティアグループの実態把握 民
 - ・ボランティア活動の紹介あっせんと大学ボランティアセンター等との連携 民

事業：福祉教育の推進

- 具体事業例 ・子どもたちと学区社協事業・施設利用者との交流の促進 民
・大学（ゼミ）との協働による福祉事業の開催 区・民

【施策2 地域での支え合い活動の推進】

介護保険制度などの公的な福祉サービスの充実は大切ですが、地域における様々な生活課題にきめ細かく対応するためには、こうした公的な福祉サービスだけでは、不十分です。これからの地域における福祉のあり方を考えた場合、住民自身が中心となって児童・高齢者・障がいのある方々を支え合っていく取組が必要です。共に支え合い、支援していく活動の充実に取り組んでいきます。

■事業・具体的事業例

事業：子育て支援

- 具体事業例 ・子育てサロンの開催 民
・子育てサロン交流会の開催 民

事業：高齢者の生活支援

- 具体事業例 ・見守り訪問活動の実施 民
・健康すこやか学級などの開催 民

事業：障がいのある方への理解と支援

- 具体事業例 ・障がいのある方との交流事業（学習会）の実施 民
・障がい者施設と地元住民との交流事業の実施 民

事業：人にやさしいまちづくりの推進

- 具体事業例 ・誰もが利用しやすい店舗づくりやサービス提供の普及促進と情報提供 市・区・民
・不法駐輪・置き看板等の一掃に向けた取組 市・区・民
・誰もが歩きやすい道路整備 市・区

【施策3 福祉のネットワークづくり】

福祉に関する情報は大変多くありますが、その情報は、多岐に渡っており、利用者にとって、どれが最適な情報なのか判断できないことがあります。また、上京区内には、福祉に関する相談機関も多くありますが、どこに相談すれば良いのか分からないこともあります。区内の福祉関係機関（民生児童委員会、社会福祉協議会など）が連携して、必要な人に必要な情報が行き渡るとともに、一箇所で情報を得られるなど利用しやすい情報提供や、相談しやすくする取組を進めます。

■事業・具体的事業例

事業：福祉関係機関相互の情報の共有化

- 具体事業例 ・福祉分野（児童・高齢・障害・地域福祉）の情報の集約化 市・区・民
・各情報紹介先の一覧化 市・区・民

事業：福祉関係機関と住民団体のネットワーク化

- 具体事業例 ・相談機関（地域包括支援センター・地域子育て支援ステーション等）と住民団体の連携 市・区・民
・総合相談窓口の開設 区

事業：福祉情報の発信

- 具体事業例 ・福祉マップの作成 区・民
・広報紙・インターネットを活用した情報発信 区・民

【施策4 健康づくり】

年齢・性別・障害の有無に関わらず、誰もが健康で幸せに暮らせるまちを目指して、個人の健康づくりの支援はもちろん、地域ぐるみの健康づくりを応援します。情報発信や健診の充実だけでなく、住民を中心に種々の機関が連携を強化し、上京区ならではの食文化の継承等を通して、地域に根ざした心身の健康づくりを進めます。

■事業・具体的事業例

事業：健康に生活するための地域ぐるみの活動への支援

- 具体事業例 ・健康すこやか学級への支援 区・民
・子育てグループ等への支援 区・民
・体育振興会、老人会等による健康づくり活動への支援 区・民
・地域で健康づくりを推進するグループの育成 区・民
・食育指導員の育成と活動の推進 市・区・民
・食文化の継承のための活動支援 市・区・民

事業：健診受診機会の拡大や受診者の利便性の向上

- 具体事業例 ・胸部検診，がん検診，青年期健診，骨粗しょう症予防健診，歯科相談などの同日開催（総合化）による受診者の利便性の向上 市・区
・施設（保健所）型胃がん検診の充実 市・区
・がん検診協力医療機関周知方法の見直し 市・区

事業：心身の健康づくりに関する情報発信の充実

- 具体事業例 ・健康教室，出前トークの充実 市・区
・こころの健康に関する情報提供と啓発活動の継続 市・区・民
・イベント等を活用した的確な保健・医療情報の提供や区民との情報交換の場の創出 区・民

事業：こころの健康に関するネットワークの充実

- 具体事業例 ・上京こころのふれあいネットワーク連携の推進強化 区・民
・自殺予防対策を含めこころの健康に向けた取組の強化 市・区・民

事業：保健・医療・福祉などの関係者や機関との連携の推進強化

- 具体事業例 ・保育・教育機関との連携による禁煙指導や食育の推進 市・区・民
・既存ネットワークにおける連携強化 市・区・民

事業：食を取り巻く環境の整備

- 具体事業例 ・食情報提供店の協力推進 市・区・民



4. 暮らしと賑わい

現状

【西陣機業の推移】（平成17年）

◎10年で出荷額は半減，企業数は3割，従業員数は4割減少。

出荷額：平成8年1,529億円⇒平成17年708億円

企業数：平成8年690⇒平成17年479

従業者数：平成8年7,738人⇒平成17年4,402人

【小売商業の推移】（平成19年）

◎販売額は3.5割，商店数は3割，従業員数は1.5割減少。

販売額：平成9年1,055億円⇒平成19年706億円

店舗数：平成9年1,910⇒平成19年1,372

従業員数：平成9年7,295⇒平成19年6,299

【観光客になじみは薄い，豊かな観光資源】

◎観光客の訪問地は，京都御所の20位が最高。（平成20年度）

◎文化財は右京区，東山区，左京区に次いで多い。国宝11件，重要文化財204件，市指定文化財34件（平成19年度）

◎京町家 上京区4,417軒，東山区2,141軒，下京区1,659軒（平成10年）

課題

- 上京区に住んでいることを誇りに思い，住み続けることができるまちづくりの推進
- 地域産業の停滞，少子高齢化，空き店舗が増加する中での新たな賑わいの創出
- 地域や大学，NPO等との連携による魅力発信，活性化
- 上京が誇る地域の財産や魅力を活用した，誰もが，いつでも，上京区を訪れたい取組の促進
- 豊かな観光資源のネットワーク化

課題を解決していくための施策・事業

【施策1 住みたくなるまち上京の推進】

上京区には，1200年の歴史に培われた文化が，区民の普段着の生活の中に息づいています。区民の皆さんが，歴史・文化を楽しみ，上京区に住んでいることを誇りに思い，住み続けることができるまちづくりを進めます。また，番組小学校創設に代表される区民の教育に対する熱意と大学のまちという財産を生かすとともに，地域の暮らしを支え，賑わいの拠点である商店街などの活性化を図り，区全体に活力と賑わいを生み出す取組を進めます。

■事業・具体的事業例

事業：区民による文化活動の推進

- 具体事業例 ・茶会，薪能（上京区文化振興会事業）の開催 区・民
- ・上京歴史探訪館事業との連携 区・民
- ・歴史・文化関係のNPO等との連携 区・民
- ・子どもを対象とした歴史・文化の教育の推進 市・区・民

事業：地域の魅力の共有

- 具体事業例 ・「史蹟と文化」の発行 区・民
- ・上京区役所HPの充実と関連HPとのリンク 区・民

事業：住み続けることができる住まいづくりの促進

- 具体事業例 ・高齢者向け優良住宅の供給促進 市・民
- ・既存不適格建築物に対する公的価値の見直しと一般借家市場での流通の促進 市・民

事業：学区や小学校を拠点とした魅力ある教育環境の整備促進

- 具体事業例 ・学校運営協議会と上京区「人づくり」ネットワークの充実 市・区・民

事業：大学と連携した地域の活性化

- 具体事業例 ・大学・不動産業者・地域のネットワークの構築 区・民
- ・大学生と地域を結ぶための大学と区役所機能の活用 区・民

事業：賑わいを創出し、暮らしを支える地域商業の振興

- 具体事業例 ・商業を契機とした地域振興計画の策定 市・区・民
- ・買い物代行や配達など，高齢者や障がいのある方，全ての人に優しいサービスの検討 市・民
- ・区マスコットキャラクター「かみぎゅうくん」を生かした活性化策の検討 区・民
- ・歩いて楽しい商店街に向けた取組の検討 区・民

【施策2 訪れたいくなるまち上京の推進】

上京は、源氏物語の舞台である平安宮，室町幕府の花の御所，安土桃山文化を代表する聚楽第など，日本の歴史の中心地でありました。また今でも，茶道，華道，和歌に代表される伝統文化，西陣織や千家十職に代表される伝統工芸，能・狂言などの伝統芸能などが盛んで，上京区は，まさに日本の歴史文化の宝庫です。このような上京が誇る地域の財産や魅力を活用して，誰もが，いつでも，上京区を訪れたいくなる取組を進めます。

■事業・具体的事業例

事業：地域に溢れる財産と魅力を生かしたイベントの創生

- 具体事業例 ・「京の七夕（仮称）」事業の実施 市・民
- ・上京歴史探訪館事業との連携（再掲） 区・民
- ・歴史・文化関係のNPO等との連携（再掲） 区・民

事業：地域に溢れる財産と魅力の分かりやすい紹介と発信

- 具体事業例 ・WEB歴史・文化・観光案内所の開設 区

- ・観光案内ボランティアの養成と活用制度の構築 区・民

事業：地域に溢れる財産と魅力のネットワーク化

- 具体事業例**
- ・西陣をキーワードとした観光商業の振興 区・民
 - ・「北野界わい梅灯路（仮称）」の検討 区・民

事業：上京らしい町並みと町家の保存・再生

- 具体事業例**
- ・市街地景観整備条例の活用（上京北野界わい景観整備地区，千両ヶ辻界わい景観整備地区，上京小川歴史的景観保全修景地区） 市・民



5. 環境



現状

【温暖化対策】（平成21年10月）

◎21年度環境家計簿取組世帯 上京区257世帯（平成21年9月）

（全市5,056世帯，平成23年度末目標50,000世帯）

◎エコドライブ宣言事業所 上京区6事業所

（全市204事業所 平成22年度末目標1,000事業所）

◎KES取得事業所※ 上京区15事業所

（全市635事業所 平成22年度末目標850事業所）

【進むごみ減量と集団回収，まだ多い食べ残しと容器包装ごみ(プラ・紙)】

◎平成12年度 ごみ量(家庭ごみ,資源ごみ,容器包装プラ)⇒平成20年度ごみ量

上京区：21,758トン（0.26トン/人）⇒13,421トン（0.16トン/人）

全市：332,118トン（0.23トン/人）⇒239,917トン（0.16トン/人）

◎てんぷら油回収拠点数,コミュニティ回収団体数（平成20年度）

上京区：てんぷら油 244拠点（176世帯/1拠点） コミュニティ回収 161団体

全市：てんぷら油1,352拠点（497世帯/1拠点） コミュニティ回収 1,499団体

◎家庭ごみの内訳(平成19年度)

重さで，約4割が厨芥類（その内，半分近くが食べ残しと手付かず食品），容積で7割が紙とプラスチック（その内，半分近くが容器包装材）

◎不法投棄撤去件数と重目（平成20年度）

上京区：401件，4.47トン 全市：4,334件，499トン

【京都御所や堀川，鴨川を除くと少ない憩いの場と緑】

◎市営公園：上京区20箇所（46,082㎡），区民1人当たりの面積0.56㎡

（行政区最小，全市平均3.80㎡）（平成21年3月）

◎緑被率（空から見た，区域に占める緑で覆われた土地の割合）

上京区：21.7%（11行政区中7番目，全市25.8%）（平成17年度）

※KES（京都・環境マネジメント・スタンダード：Environmental Management System Standard）とは，行政・民間団体・企業・学識経験者等が中心となって設立された「京のアジェンダ 21 フォーラム」が平成13年4月に創設した，主に中小企業を対象とした環境管理認証制度。環境への負荷を管理・低減することを目的としている。

課題

○家庭や事業所での省エネルギーの推進

○自動車に過度に依存しない生活への転換

○ごみを発生させない生活や仕事の推進

○生活や仕事の仕方を変えるための情報提供と動機付け

- 行政と区民の協同によるリサイクル品目及び回収拠点の拡大
- ポイ捨てのない美しいまちの維持・推進
- 市営公園や街路樹に代わる憩いの場の創造

課題を解決していくための施策・事業

【施策1 日常生活や仕事を通してできる地球温暖化対策】

地球温暖化問題は、地球上で暮らしている私たちにとって、解決していかなければならない緊急かつ重要な問題です。私たちの子供や孫の世代のために、自動車に過度に依存しないまちづくりなど、日常生活や仕事の中でできる省エネルギーの取組を進めていきます。

■事業・具体的事業例

事業：省エネルギー型のライフスタイル・事業活動の推進

- 具体事業例
- ・エコドライブの推進 市・区・民
 - ・事業所での紙ごみの分別・リサイクルの推進 市・区・民
 - ・グリーンカーテン、屋上緑化の推進 市・区・民

事業：歩くまち・上京の推進

- 具体事業例
- ・公共交通機関（バス・地下鉄）の利用促進 市・区
 - ・自転車利用環境の整備 市・区・民

事業：環境教室・啓発の推進

- 具体事業例
- ・環境家計簿の普及と省エネ体験学習の推進 市・民
 - ・省エネルギー型事業活動の紹介 市・区

【施策2 ごみそのものを発生させないまちづくりの推進】

大量生産・大量消費、大量廃棄型の社会経済活動や生活様式は、私たちに快適な暮らしと物的豊かさをもたらしてくれましたが、その反面、天然資源の枯渇や地球環境問題といった危機をもたらしています。京都の精神文化である「始末」という考え方や、「もったいない」の精神を大切にしていって、ごみそのものを発生させない仕組みづくりを進めます。

■事業・具体的事業例

事業：発生抑制・再使用を重視したごみ減量化の推進

- 具体事業例
- ・リユースびん拠点回収の拡大 市・区・民
 - ・マイバック・簡易包装の推進 市・区・民
 - ・フリーマーケットの開催支援 区・民

事業：分別・リサイクル機会の拡大

- 具体事業例
- ・蛍光灯、筒型乾電池、小型家電（シェアメタル）拠点回収の推進 市・区・民
 - ・使用済みてんぷら油やコミュニティ回収（古紙回収）など、行政と地域の協働によるリサイクルの推進 市・区・民

事業：環境教室・啓発の推進

- 具体事業例 ・エコツアーの開催 市・区
- ・保健協議会研修会，石鹸作り教室（女性会），「菜の花プロジェクト」（地域ごみ減量推進会議）など，地域で取り組む環境啓発の推進 区・民

【施策3 美しいまち 上京の推進】

上京区には，毎朝の門はきや水撒きなどの習慣が残っています。この良き習慣を次の世代にも伝え，美しいまちで気持ち良く暮らせるための取組を進めます。また，古くからの町並みが残る上京区では，街路樹などの緑が少ない地域もあります。まちなかにおける緑を増やすために，玄関先や窓辺のプランターなど，区民の知恵と心遣いをまちの緑化に生かします。

■事業・具体的事業例

事業：まちの美化の推進

- 具体事業例 ・門はき，水撒きの推進 市・区・民
- ・まち美化住民協定の推進 市・区・民

事業：まちなかにおける緑化の推進

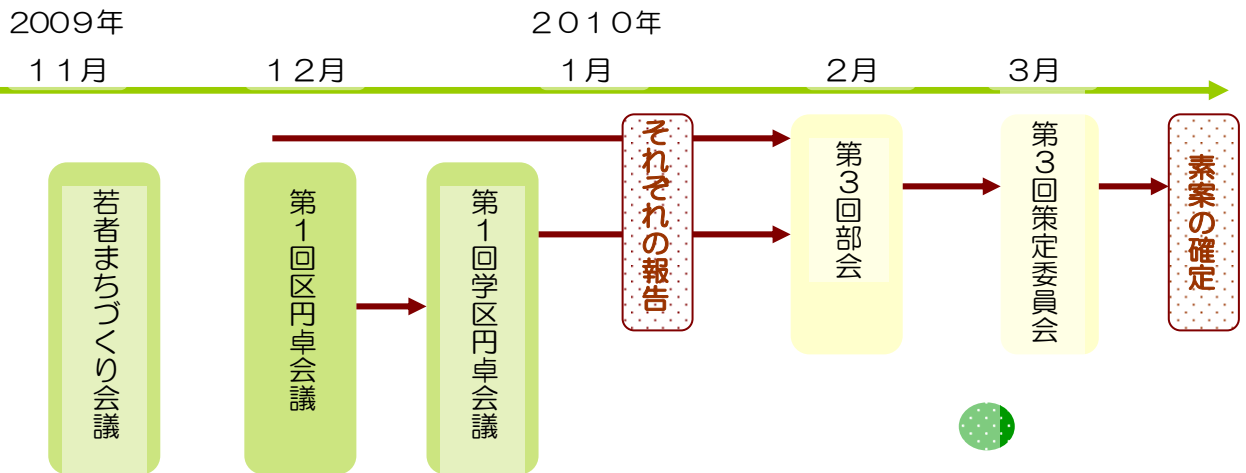
- 具体事業例 ・花いっぱい運動の推進 区・民

事業：環境教室・啓発の推進

- 具体事業例 ・ガーデニング講習会等の開催 区・民



今後のスケジュール



学区住民円卓会議の進め方

○学区住民円卓会議では、主に「具体的事業例」について、御意見を頂きたいと考えています。

■議論していただきたいこと

具体的事業例の検討

⇒今、記載している内容は、上京区の課題を解決するための施策・事業を考えるために、これまでの取組から、今後10年間に上京区内の行政関係機関と区民の皆さんとが力を合わせて取り組む事業例を示したものです。

5つのテーマ（「自治と地域力」、「まちの安全安心」、「福祉と健康」、「暮らしと賑わい」、「環境」）に沿って、**学区やご自身で既に取り組まれていること、またこれから取り組もうとされていること**などを、具体的に教えて下さい。

☆具体的事例の検討の際、あわせて、下記の点も御確認下さい。

①現状と課題の確認

⇒今年の1月から3月かけて開催していただいた学区住民円卓会議での議論をもとに、現状と課題を整理しました。皆さんが生活の中で感じておられる課題などがありましたら追加してください。

②施策・事業の確認

⇒施策・事業の内容が、皆さんの日常生活の中で感じられている解決すべき課題や、伸ばすべき特徴を踏まえた内容となっているかどうか、御確認下さい。